

<第4286回>

目的地：火打山・妙高山(頸城)

担当者：松岡

実施日：2022年9月9日(金)～12日(月)

形式：テント泊縦走

費用：¥22,950.-

参加者：3名

天気：晴れ

行程：

9/9(金)

大阪駅前桜橋口高架下(22:10)=[南海バス] 三条行⇒

9/10(土)

(6:06) 柏崎駅前/柏崎(6:58)=[JR] 信越本線 妙高高原行⇒(7:39)直江津 =〈乗換不要〉 [えちごトキめき鉄道] 妙高はねうまライン (7:41)⇒(8:36)妙高高原(9:35)=[頸南バス] ⇒(10:25)笹ヶ峰

笹ヶ峰(10:40)⇒(11:45)黒沢橋⇒(13:45)富士見平分岐⇒(14:45)高谷池ヒュッテ〈テント設営、荷物をデポ〉(15:15)⇒(16:45)火打山(17:15)⇒(18:15)高谷池ヒュッテ テント泊

9/11(日)

高谷池ヒュッテ(6:00)⇒(7:05)黒沢池ヒュッテ⇒(7:40)大倉乗越⇒(8:30)長助池分岐⇒(10:05)妙高山 北峰⇒(10:35)南峰⇒昼食 15分⇒(12:25)天狗堂⇒(13:30)北地獄谷分岐⇒(14:35)燕温泉 入浴

燕温泉(16:20)=[市営バス]⇒(16:51)関山(17:15)=[えちごトキめき鉄道] 妙高はねうまライン 直江津行⇒(17:57)直江津(18:43)=[JR] 信越本線 新潟行⇒(19:20)柏崎/柏崎駅前(22:57)=[越後交通] 大阪行⇒

9/12(月)

(6:52)大阪駅前 解散

感想：

9/10

前週の登山情報では、初霜があったため、防寒対策をしていたが、それどころかポカポカ陽気で、残暑が厳しかった。上りの十二曲りの九十九折りの坂道は、思ったほどキツくなかったが、その後の、富士見平までの急坂が長く、まだ着かないの?と思わず言ってしまうほどとてもキツかった。このため、高谷池ヒュッテには、予定より30分遅れて14:45に到着。テントを設営。火打山への往復は2時間30分かかるため、アタックできるか思案した。天候はよく、荷物はテント場にデポし軽装備であり、みんな体力的に大丈夫ということで、行きましょう!と登頂開始。雷鳥平、天狗の庭は、湿原がとても綺麗で、木道歩きは気持ちよかった。尾瀬はこんな感じなのかなあと想像した。火打山は、午後遅くの登頂ということもあり、雲がかかっていたが、時より、山容を見ることができた。(午前に登った人は、槍ヶ岳が見えたと言っていた)

頂上に着いた時は、とても嬉しく、みんなでやったあとハイタッチした。下りは、急がず、安全を心がけ、何とか、ヘッドランプを使用せず、日の入り前までに、テント場に戻ることができた。高谷池ヒュッテのテント場は、20張りと狭く、水は池の水で、煮沸が必要なため使用せず、ヒュッテでペットボトルの水を購入した。

9/11

朝から晴天で、景色は良好。長助池分岐からの500mの急登を登り切り、妙高山に到着。岩峰の雄姿がとてもカッコよかった。下りは、クサリ場は、取り付きもしっかりしており、そこまで怖くはなかったが、天狗堂からの胸突き八丁は、下りが急でキツく、燕温泉までの道のりは長かった。火打山・妙高山は、関東の人や海外の方もおられ、とても人気のある山なんだなあと感じた。高谷池ヒュッテをベースに火打山へ、または、黒沢池ヒュッテをベースに妙高山という方が多く、コース時間が長いせいか、火打山・妙高山を縦走している人は、少なかった。新潟に火山があるとは知らず、硫黄匂いの白濁の燕温泉は最高でした。入浴料は、男性は500円、女性は600円で、その100円の差は、女性には露天風呂があり、とても好評でした。

今回、新潟の山を初めて登ったが、テント装備を担いだ縦走は本当にしんどかった。百名山たる所以に恐れ入りました。参加者のみなさん、ありがとうございました!